



*Heads for west a guy with motorcycle
Pictures of Australian roads*



21.DEC.2009 - 12.JAN.2010 の旅の記憶として

「ひとりぼっちの方が孤独でないのはなぜだろう？」と、つねづね思う。灼熱の荒野を命からがら抜け出して、町に辿り着いた途端、いたたまれぬ孤独に打ちのめされて、再び砂漠へと逃げ出してしまう。

「アフリカの水を飲んだ者はアフリカへ帰る」と、言ったのは誰だったか。その言葉の真の意味を、ここオーストラリアで知った。灼熱の荒野で飲み干す冷えた水の尊さ。存在は、死を見渡す極限においてしか、真の歓喜を学べない。

Heads for west a guy with motorcycle.
Pictures of Australian roads.































































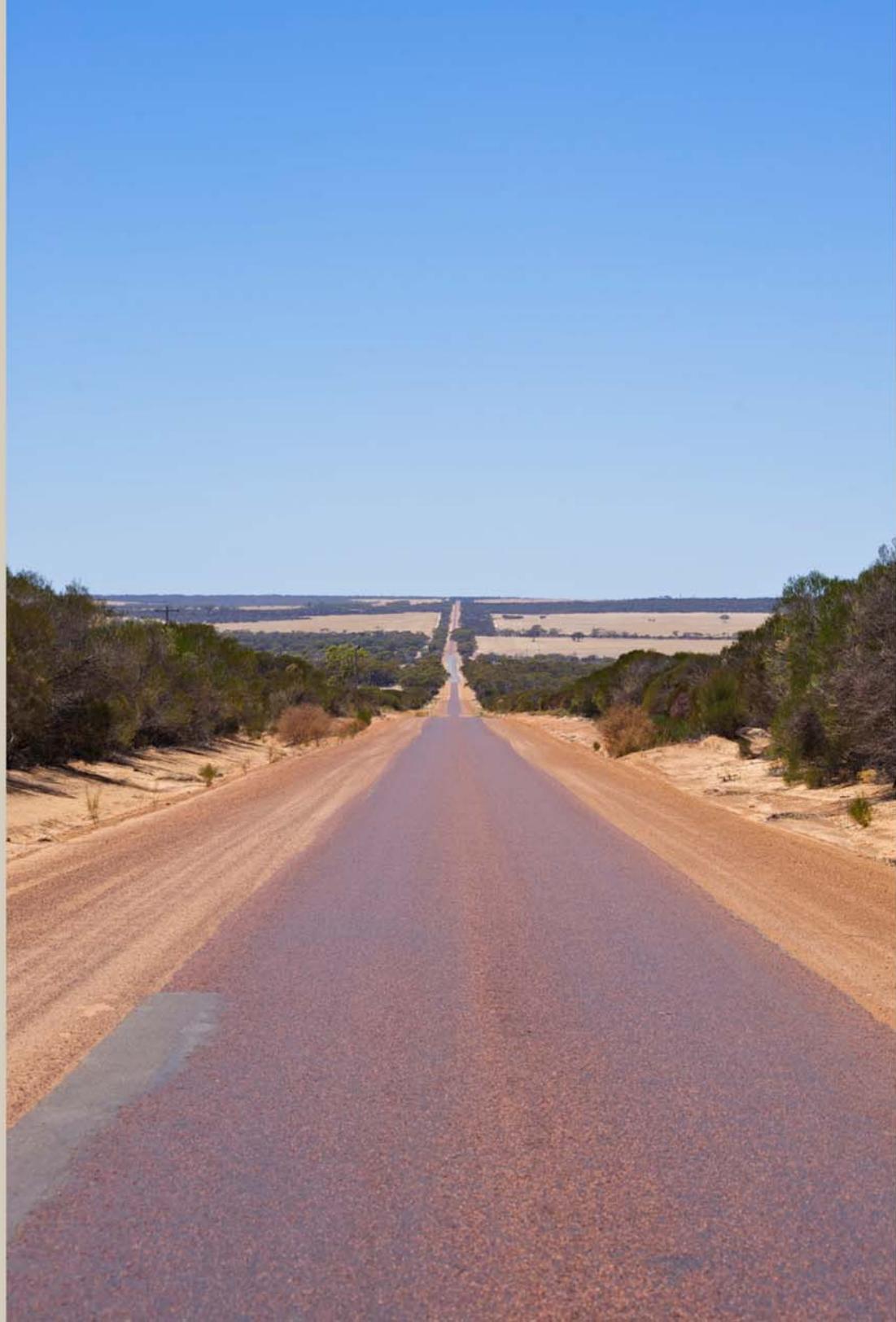






















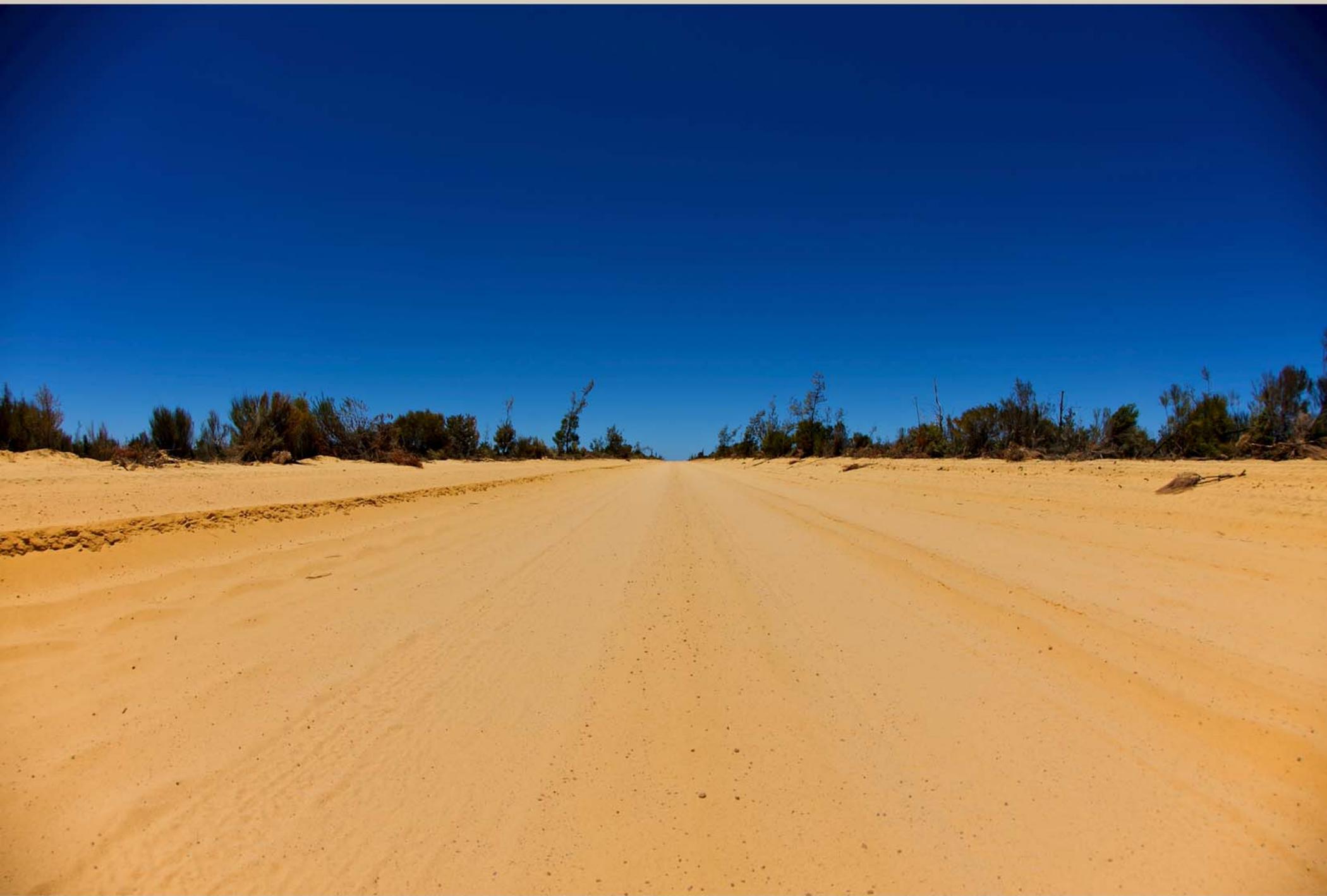






































Appendix _ Readers









































無謀と冒険の狭間で

何のシナリオもなく、誰の助けもあてにせず、無名さの中で、ひとりきり、懸命に、夢中で、ただ走り続けること。空と大地の語る言葉を聞く心を持ち、自らの感ずるまを信じ、神に抱かれる幸福を予感すること。偶然と必然とを、その境界で縫い合わせながら、災いを避ける術を知り、時間を紡いでゆくこと。そうした旅路、あるいは人生そのもの。それが僕にとっての冒険に違いない。

